

2024年1月17日

# 大学生の自動車所有と移動意識に関する実態調査2023

## 調査報告 ～基本データ～

群馬トヨタ自動車  
株式会社

×

群馬大学情報学部  
・社会情報学部

**調査責任者：** 群馬大学情報学部 准教授 永野清仁

**調査実施者：** 群馬トヨタ自動車(株) 専務取締役 横田龍太  
群馬トヨタ自動車(株) 経営企画部GM 柴塚邦彦  
群馬トヨタ自動車(株) 経営企画部 五十嵐佳之, 加藤見嘉子, 中澤諒  
群馬大学情報学部 教授 杉山学, 教授 奥貫圭一, 助教 草野邦明

**調査補助員：** 群馬大学情報学部3年生  
**秋野恵理, 内山匠, 江原彰慶, 熊谷紫恩, 佐々木悠人, 鈴木康浩,**  
高根思実, 店網周平, **地徳涼音, 中嶋紀瑛, 早川大翔, 松本理玖**

調査補助員のうち**太字**の8名は群馬大学情報学部の授業 融合型PBL 1 (群馬の大学生のモビリティ意識分析①) と融合型PBL 2 (群馬の大学生のモビリティ意識分析②) 両方の受講学生

残りの4名は融合型PBL 1 (群馬の大学生のモビリティ意識分析①) のみの受講学生

群馬トヨタ自動車株式会社

×

群馬大学 情報学部  
・社会情報学部



@carshare\_gunma

## 今回の調査について

本調査は、群馬トヨタ自動車株式会社と群馬大学情報学部が取り組んでいる共同研究「大学生向けカーシェア共同実証実験」の一環として実施したものです。この共同研究と群馬大学情報学部の授業、融合型PBL 1 (群馬の大学生のモビリティ意識分析①) の共同プロジェクトとしてアンケート調査を実施しました。

本調査の目的は、変化する社会における大学生の「移動意識」についてその現状を把握・分析するための調査です。関連する調査は2018年から複数年にわたって実施しており、時代の変化に伴う大学生の意識の変化を分析するために重要な調査です。

調査対象は、群馬大学 荒牧・桐生キャンパスに通う学部生です。



# 群大カーシェアについて

群馬大学にはカーシェアがある！

2019年10月時点 (サービス開始当初)

- 荒牧キャンパスの1か所のみ、車両3台

2023年3月時点

- 荒牧キャンパス (車両3台)
- **桐生キャンパス** (車両2台) ← 2022年秋から
- 群馬大学の寮である養心寮 (車両1台)

計6台の車両で運用

2023年4月10日(月)~

群大カーシェアで『ワンウェイ』利用が可能な車両を1台追加



荒牧キャンパスST (2021年7月撮影)



# 群馬トヨタプロジェクト (2018年夏～)

群馬トヨタ自動車と群馬大学情報学部(社会情報学部)は共同でモビリティ(移動手段)意識調査を毎年実施

- **大学生向けカーシェア共同実証実験** (2019年10月～**継続中**)
  - 学部として群馬トヨタ自動車との共同実験(研究代表者 杉山学教授)
  - モビリティ意識調査も合わせて実施
- 大学生の自動車購買行動の実態調査  
2018年12月, 2020年1・2月
- 社会情報学部のPBLの授業(データ解析PG)でも  
2019～2022年度に活動



# 2023年度のモビリティ意識調査について

## 2023年度もモビリティ意識調査を実施

モビリティ意識調査『大学生の自動車所有と移動意識に関する実態調査2023』は次の2つの群馬大学情報学部の授業と連携して実施

- 2023年度前期開講  
融合型PBL 1 (群馬の大学生のモビリティ意識分析①) … データの**収集**が中心
- 2023年度後期開講  
融合型PBL 2 (群馬の大学生のモビリティ意識分析②) … データの**分析**が中心

# 今回の調査の基本情報

調査名： 大学生の自動車所有と移動意識に関する実態調査2023

調査目的：

変化する社会における大学生の「移動意識」についてその現状を把握・分析すること

調査母集団：

群馬大学 荒牧・桐生キャンパスに通う学部生

(**情報学部の1～3年生、群馬大学 社会情報学部の4年生を含む**)

アンケートへの全回答者 489名 のうち

情報学部 または 社会情報学部 469名 (95.9%)

その他の学部生 16名 (3.3%)、 回答なし 4名 (0.8%)

情報学部または社会情報学部の学生数 662名 (休学者除く、2023年10月時点)

⇒ **情報学部・社会情報学部のみ**の回答率は  $469/662 = 70.8\%$



# 今回の調査の実施方法

調査対象の抽出手順：

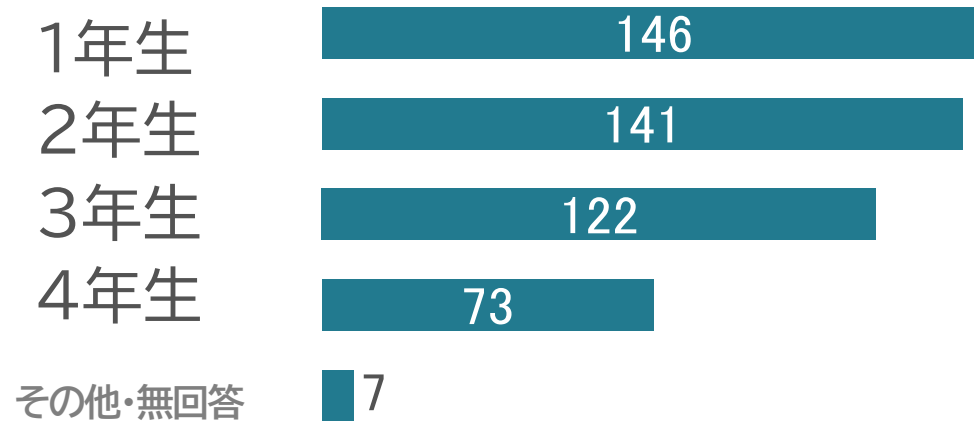
**オンライン上でアンケート**を実施（群馬大学LMSを使用）

群馬大学の各学部の学生に 教務システム でアンケートの実施を通知

加えて、情報学部・社会情報学部の全学生にはメールでも通知

調査票の配布から回収までの期間： **2023年9月28日～10月31日**

サンプルサイズ： **489**部回収



情報学部・社会情報学部  
のみの回答率は **70.8%**

# 回答者の基本データ

男女比： 女 **196**, 男 **279**

居住形態 (n=483) :  
一人暮らし **50.7%**

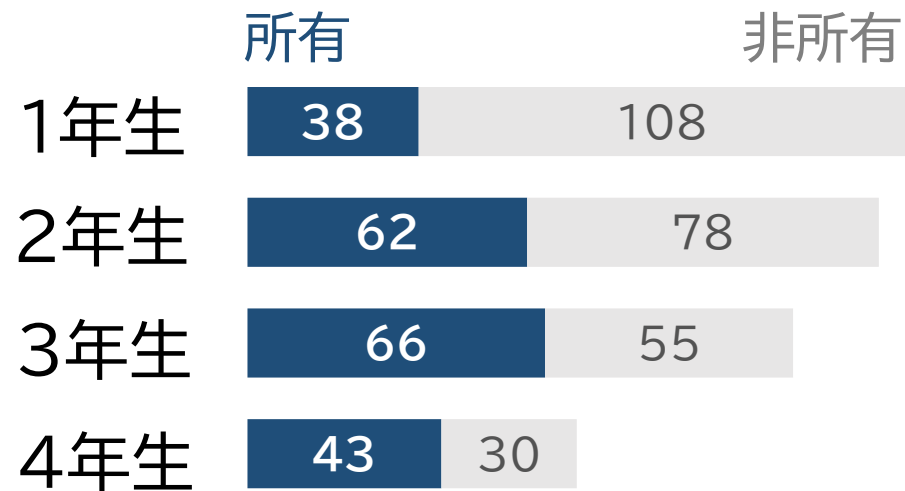
居住地域 (n=483) :  
前橋市 **63.1%**  
群馬(前橋以外) **28.6%**  
その他 **8.3%**

通学手段 (n=484) : 車 **37.2%**



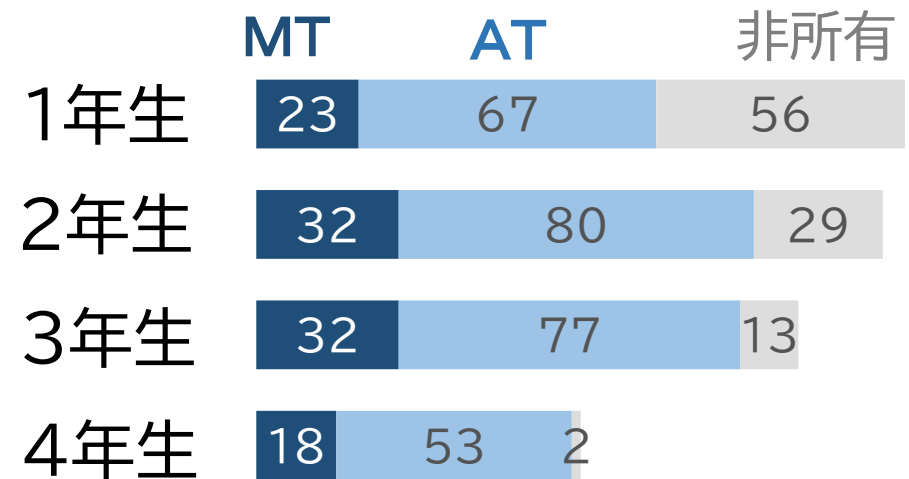
# マイカー・免許所有状況

マイカー所有状況 (n=485)



マイカー所有率: **43.8%**

運転免許所有状況 (n=485)



運転免許所有率: **79.2%**

# 群大カーシェア や ワンウェイサービス の認知度など

群大カーシェアについて (n=484)

利用したことがある  
知っている

**16.5%**  
**98.1%**

ワンウェイサービスについて (n=483)

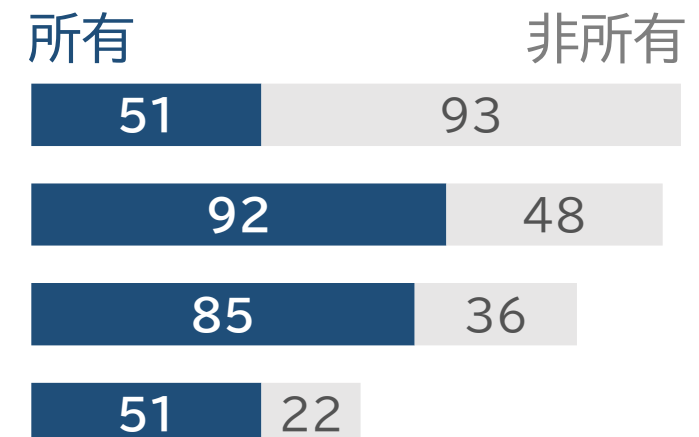
利用したことがある  
知っている

**3.9%**  
**68.3%**

クレジットカードについて (n=480) :

※ 群大カーシェアの登録にはクレジットカードが必要

クレカ所有率 **58.5%**



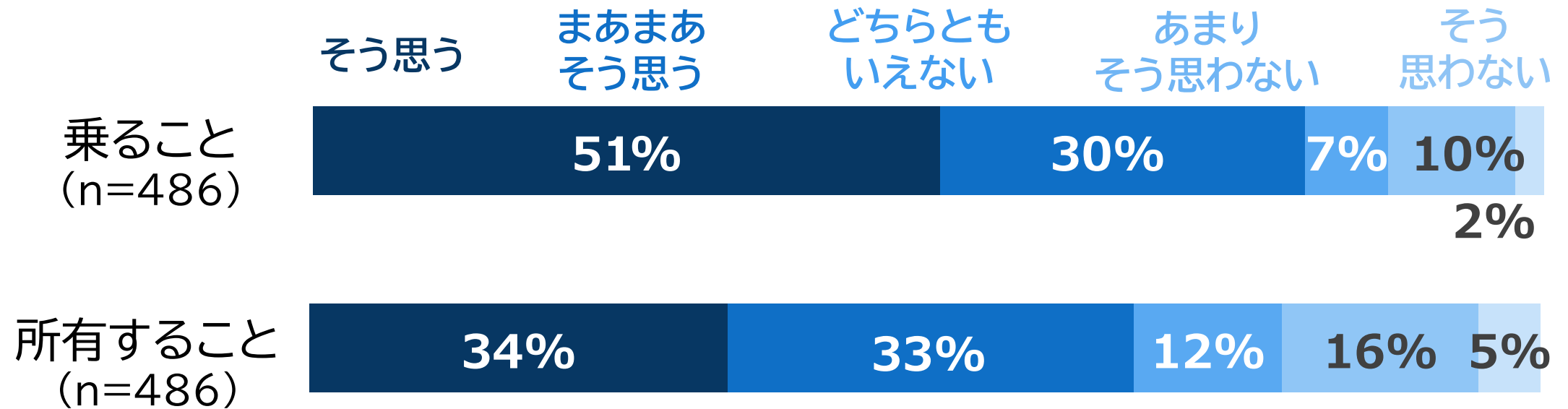
# 群大カーシェアの決済方法について

群大カーシェアの「あなたにとって現実的だと思う」決済方法は？ (n=481)

<input type="checkbox"/> クレジットカード	<b>65.2%</b>
<input type="checkbox"/> デビットカード	<b>17.0%</b>
<input type="checkbox"/> 口座振替	<b>17.5%</b>
<input type="checkbox"/> キャリア決済	<b>12.7%</b>
<input type="checkbox"/> QRコード・バーコード (PayPay など)	<b>71.5%</b>
<input type="checkbox"/> 交通系電子マネー (Suica など)	<b>65.5%</b>
<input type="checkbox"/> 交通系以外の電子マネー (QUICPay など)	<b>19.1%</b>
<input type="checkbox"/> プリペイドカードによる決済	<b>6.0%</b>
<input type="checkbox"/> 現金	<b>44.5%</b>

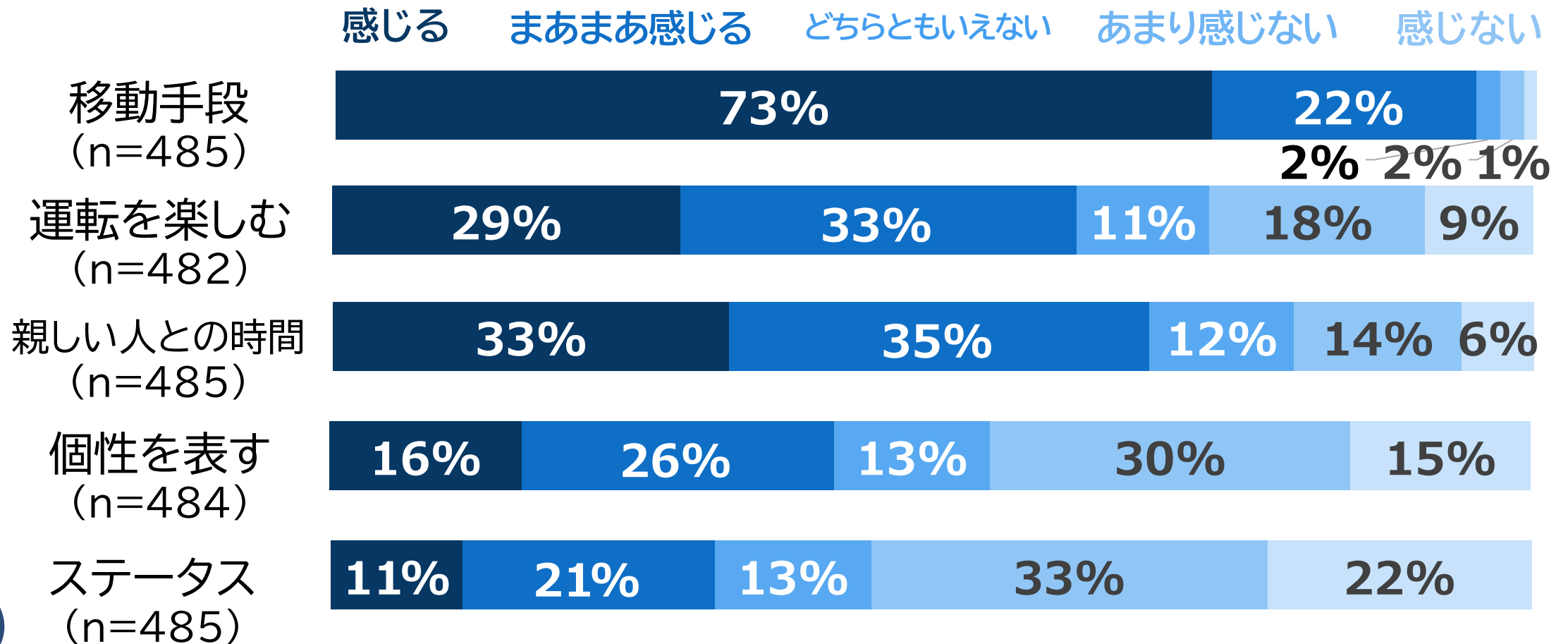
# 車に乗ることと車を所有することの必要性

## 車の必要性について



# 車の価値について

車について、以下の観点から価値を感じるか



# アンケートにおける自由記述の設問 と 回答件数

- 群大カーシェアの取り組みへの感想や意見 165件
- 群大カーシェアのワンウェイサービスへのコメント 86件
- カーシェアへの抵抗についての意見 166件
- 遊ぶ場所やそれに伴う移動手段について教えて 231件
- 大学への入学前後で車の必要性は変化したか 190件
- 群大カーシェアに望むサービスやキャンペーン 106件
- 「自動車を所有すること」の必要性や重要性 232件
- コロナなどの社会の変化と移動への価値観 193件

# 「移動意識に関する実態調査2023」のデータ分析について

「移動意識に関する実態調査2023」のデータ分析について、  
融合型PBL 2 (群馬の大学生のモビリティ意識分析②) の受講生が2つの  
班にわかれて担当

➤ 群大カーシェアの現状と課題に関する分析

情報学部3年生 内山匠, 地徳涼音, 中嶋紀瑛, 松本理玖

➤ 群馬の大学生の移動意識に関する分析

情報学部3年生 秋野恵理, 江原彰慶, 佐々木悠人, 早川大翔